

# 平成21年度 公立大学法人島根県立大学 予算の概要

## 予算編成方針

平成19年度及び平成20年度にかけての経営統合・法人化後2年間は、3キャンパスの基盤づくりと教育研究の活性化に努めてきた。3年目を迎える平成21年度は、島根県における教育研究の拠点としてその存在感を着実に高め、平成22年度から始まる中期計画後半につなぐ重要な年である。

一方で、県の運営費交付金が、効率化を促す趣旨から毎年度減額することが見込まれる中、自主自律的な運営を目指すためには、経費削減努力と効果的な事業展開が必要である。

このため、平成21年度の予算編成にあたっては、今後策定する中期計画に係る年度計画との整合性に配慮しつつ、次の点を重点事項として取り組むこととする。

- (1) 法人の魅力を高めるため、教育研究の活性化、地域連携の強化、学生支援の充実などに係る経費に重点的に措置する。
- (2) 県立大学において包括管理委託契約を導入するなど、引き続き複数年契約や3キャンパス一括調達を可能な限り導入し、経費削減を図る。
- (3) 外部競争的資金の獲得を促進するため、学内の競争的資金である学長裁量経費の充実を図る。

## 予算の概要

### ・事業費総額

事業費総額は、29億11百万円で、前年度予算(29億7百万円)に比べ、0.1%増(4百万円増)となっています。

(単位:千円、%)

区分	平成21年度	平成20年度	増減	増減率
予算規模	2,910,554	2,906,759	3,795	0.1

### ・収入予算

(単位:千円、%)

区分	平成21年度		平成20年度		増減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金	1,627,063	55.9	1,666,398	57.3	39,335	2.4
学生納付金	957,463	32.9	956,157	32.9	1,306	0.1
県補助金	77,380	2.7	50,229	1.7	27,151	54.1
外部補助金等	121,526	4.2	97,444	3.4	24,082	24.7
寄附金	40,000	1.4	50,000	1.7	10,000	20.0
その他収入	87,122	3.0	86,531	3.0	591	0.7
計	2,910,554	100.0	2,906,759	100.0	3,795	0.1

運営費交付金は、効率化による減額分 15百万円(0.6%)と退職手当の減 88百万円等による減を見込んでいます。一方、法人教職員に係る共済費のうち県負担金(公立学校共済分)について、平成21年度から、県が直接支払う方法から法人が支払う方法に変更され、その相当額78百万円が交付金に加算されることとなります。その結果、総額では 39百万円減(2.4%)となっています。

県補助金(大規模修繕等に10/10を措置する特殊要因経費補助金)は、出雲キャンパス構内電話システム更新事業ほか2件を予定し、27百万円(54.1%)増となっています。

外部補助金等は、平成19年度に5件、平成20年度に1件採択した文部科学省大学教育改革支援プログラム(GP)の継続分を計上し、24百万円(24.7%)増となっています。寄附金は、旧北東アジア学術交流財団寄附金の平成21年度執行予定額と同額を計上しています。

## ・支出予算

### 1. 科目別内訳

(単位:千円、%)

区分	平成21年度		平成20年度		増減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	231,358	7.9	236,508	8.1	5,150	2.2
研究経費	135,441	4.7	132,397	4.6	3,044	2.3
教育研究支援経費	194,202	6.7	203,875	7.0	9,673	4.7
人件費	1,652,000	56.8	1,675,657	57.6	23,657	1.4
一般管理費	462,607	15.9	464,833	16.0	2,226	0.5
施設費事業	77,380	2.7	50,229	1.7	27,151	54.1
受託事業等	68,099	2.3	70,175	2.4	2,076	3.0
補助金事業費	89,467	3.1	73,085	2.5	16,382	22.4
計	2,910,554	100.0	2,906,759	100.0	3,795	0.1

教育経費は、浜田キャンパス非常勤講師等旅費が平成19年度カリキュラム改定の経過措置終了により減額すること等により、5百万円の減を見込んでいます。

教育研究支援経費は、平成20年度に整備した松江キャンパスCALLシステムの初度経費の減等により、10百万円の減を見込んでいます。

人件費は、公立学校共済県負担分の増、県派遣職員のプロパー職員への切り替えによる減、退職手当の減を計上しています。

一般管理費は、平成20年度複写機の一括調達による浜田キャンパスのリース料の減等により2百万円の減を見込んでいます。

受託事業等には、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円、文部科学省委託「社会人学び直しGP」継続事業分を計上しています(その他のGPは「補助金事業費」に計上)。

### 2. 新規事業、重点化事業について

#### (1) 教育の活性化

大学院リカレント教育の推進(浜田C) **(新規)** 50千円

- ・H21に統合する北東アジア開発研究科における社会人の受入を促進するためのサテライト教室開設に向けた調査経費(その他長期履修学生制度の創設等実施)

看護学科・専攻科新カリキュラム対応経費(出雲C) **(新規)** 902千円

- ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正による新カリキュラムに対応するための講師謝金等

看護学科(SP(模擬患者)参加型看護技術演習、災害看護)、地域看護学専攻(臨地実習、健康危機管理論、学校保健論、地域看護学概論、産業保健論)、助産学専攻(助産管理・経営論)

新入看護学生に対するエチケット教育の実践(出雲C) **(新規)** 950千円

- ・看護学科新入生に社会的マナー・エチケットを教える新たな取り組みに要する経費

ティーチング・アシスタント(TA)の創設・充実(松江C、浜田C) 2,175 千円

- ・松江C...マルチメディア演習室やCALL教室(H20システム更新)での情報系講義を充実するためのTA経費(新規) 725円×8h×15日×10ヶ月 870千円
- ・浜田C...履修登録者数200名を超える科目に対するTAの拡充 1,305千円  
725円×6h×2人×5科目×15週×2期

ゼミ活動支援経費の充実(浜田C) 2,100 千円

- ・少人数ゼミにおける学外活動に対する助成経費について学生1人当たり単価を増額  
学生1人当たり単価 2,000円 3,000円

保護者への成績送付(全学)(新規) 218 千円

- ・保護者に直接成績通知書を送付することにより保護者へのサービス向上と教育指導の強化を図る

## (2) 地域連携の強化

地域連携推進センターの体制整備(本部)(新規) 1,748 千円

- ・大学独自の地域貢献活動の拠点として、地域ニーズの把握と3キャンパスの総合窓口機能を充実するため、地域連携推進室を整備し、嘱託職員1名を配置

## (3) 学生支援・教育環境整備

在学生成績優秀者奨学金の充実(全学) 2,300 千円

- ・H20に創設した在学生成績優秀者奨学金の枠を拡充  
単価 10万円(出雲C専攻科は5万円)  
人数 浜田C 6人 12人、松江C 3人 5人、出雲C 4人 8人

海外研修支援奨学金制度(全学)(新規) 1,570 千円

- ・海外研修の参加を促進するため、一定の成績要件を満たし、研修費用の支弁が困難な学生に奨学金を給付  
[浜田C]アメリカ 10万円×5人、ロシア 6万円×2人、中国 3万円×5人、韓国 2万円×5人  
[松江C]アメリカ 7万円×5人  
[出雲C]アメリカ 7万円×5人

授業料減免(家計急変特例) 4,167 千円

- ・家計急変により納付が困難な学生に特例減免を実施

図書館機能の充実(松江C、浜田C) 2,129 千円

- ・松江C 開館時間の延長(平日18:00 20:00に延長) 1,998千円
- ・浜田C 図書委員会費(学生による選書、サービス向上推進)(新規) 131千円

健康栄養学科教育備品整備(松江C) 987 千円

- ・給食・調理実習備品更新(包丁まな板滅菌庫、ガスフライヤー、ガス式立体炊飯器)

## (4) 研究の活性化

機関リポジトリの検討(本部)(新規) 395 千円

- ・機関リポジトリ(学術雑誌掲載論文・紀要論文の電子化、インターネット上での公開)の構築のための検討経費

リサーチ・アシスタント(RA)の新設(浜田C)(新規) (制度創設)

- ・大学院生等をRAとして任用し、研究活動の推進及び大学院生の研究能力向上・生活支援を図る(制度を創設し、外部資金等による運用を開始する)

市民研究員制度研究会開催経費（浜田C） <i>(新規)</i>	1,010 千円
---------------------------------	----------

- ・市民研究員制度を県東部に展開するため経費等

競争的課題研究助成プログラム（浜田C）	1,400 千円
---------------------	----------

- ・統合する北東アジア開発研究科の博士後期課程の大学院生を北東アジア地域研究センター准研究員に任命し、3年間の研究活動に対して助成する  
70万円（3年間）×2人

教員研究費の見直し（浜田C）	
----------------	--

- ・教員研究費の教員1人当たり単価を見直し、学内競争的資金である学術教育研究特別助成金を充実する

[教員研究費単価] 教授 100万円 94万円、准教授85万円 80万円、講師70万円 66万円  
[学術教育研究特別助成金] 13,000千円 15,070千円

(5) 県特殊要因経費補助金（大規模修繕）	77,380 千円
-----------------------	-----------

・浜田C 国際交流会館電力量計等更新	11,541 千円
・出雲C 構内電話システム更新	42,025 千円
・松江C 中央監視装置更新	23,814 千円

(6) 外部資金関係 - H19・20採択文部科学省大学教育改革支援プログラム（GP）継続分	
--	--

「北東アジアにおける英語使用環境の構築」(現代GP・H19~21)(浜田C)	17,487 千円
・ICT活用による日本と北東アジアの英語教育モデル構築	
「双方向的情報システムの構築による学生支援」(学生支援GP・H19~22)	24,956 千円
(浜田C)	
・マルチメディアを活用した在学生・卒業生に対するキャリア教育支援	
「地域を基盤とする看護教育の構築」(現代GP・H19~21)(出雲C)	21,963 千円
・地域の自主グループのネットワークを構築することによる看護教育の促進	
「地域に広がる新しい看護ニーズに応える教育」(特色GP・H19~21)	12,720 千円
(出雲C)	
・家庭訪問実習を核とした看護能力の向上	
「周産期からの子育て支援拡充に向けた専門職再教育プログラムの開発」	19,650 千円
(社会人学び直しGP・H19~21)(松江・出雲C)	
・保健・栄養領域、保育・教育領域の専門資格・免許をもつ現職者・離職者の再養成	
「eポートフォリオによる自己教育力」(教育GP・H20~22)(出雲C)	18,500 千円
・eポートフォリオシステムと参画支援システムを構築し看護力・参画力を育成	

(7) 北東アジア地域学術交流財団（NEAR財団寄附金事業）	40,000 千円
--------------------------------	-----------

[主な事業]

・北東アジア学研究プロジェクト事業「交錯する北東アジアアイデンティティの諸相」研究会 <i>(新規)</i>	1,000 千円
・共同プロジェクト研究助成事業	5,000 千円
・地域貢献プロジェクト研究助成事業	3,000 千円
・北東アジア学図書出版事業	2,500 千円
・国際学術交流事業（北京大学との国際シンポジウム等）	5,500 千円
・県民大学院（NEARカレッジ）開催事業	1,200 千円
・交流県留学生教育支援事業	8,380 千円
・大学院留学生教育支援事業	8,635 千円